



Lend a Hand

会長/山本 賢
幹事/西山 斉
SAA/小林 繁男

三条北ロータリークラブ週報

手を貸そう

例会日
2003. 12. 9
累計 No 830
当年 No 23

国際ロータリー会長 ジョナサンB.マジアベ 第2560地区ガバナー 原 信一
ホームページ <http://www.rotary2560.net>

例会日/火曜日 12:30~13:30
例会場/三条ロイヤルホテル TEL34-8111 FAX34-8114
事務局/三条市西四日町3-15-34 ヒューマン・ハーバー内
TEL35-7160 FAX33-8972

メールアドレス north@sanjo-nrc.org ホームページ <http://www.sanjo-nrc.org>

行 事: 「ロータリー財団月間」

卓話「古いものにも命は宿る 古いものほど心が光る」

(株) プランニング瑞穂 丸山幸雄様

出 席: 本日の出席 58名中 41名

先々週の出席率 58名中 47名 81.03% (前年同期81.67%)

【11月の出席状況: 会員数58名 例会数4回 平均出席率79.29% (前年同月84.59%)】

先週のメイクアップ: 12月5日 地区会員増強委員会 (長岡) 中條耕二さん、佐藤義英さん
米山忠俊さん、阿部勝子さん

ゲ ス ト: (株) プランニング瑞穂 丸山幸雄様

ビ ジ タ ー: なし

会 長 挨 拶: 山本 賢会長



今日は「アラビアのロレンス」という映画のワンシーンの話をします。
第一次世界大戦の際、ロレンスは戦争の工作をするために、アラビアに
やって来て、井戸で水を飲んでいました。そこに他部族のベドウィンが来
て、彼も水を飲みました。しかし、そのベドウィンは地元のベドウィンの
族長に胸を撃たれました。ロレンスは族長に「おまえはなぜそういう非人
間的な行動をするんだ」と言いました。

なぜ彼が撃たれたのか考えてみてください。

アラブは砂の文明です。強い風が吹くと砂が舞って、砂漠自体が動いてしまいます。昨日までそこ
に生えていた草は、次の日には10km先に吹き飛ばされてしまうのです。しかも砂漠はほとんど雨が
降らないので、草の根は横に広がります。雨が降ったら全部受け止められるようなシステムになっ
ているのです。人々にとってこの土地—砂漠は人間を養ってくれず、国境の存在も意味がないのです。

人々にとって国家財産とは、港で交易できる権利、砂漠の上にもっているルート、また資源（石
油、鉱物）です。そのルートにオアシスや井戸があるのです。

再び、「アラビアのロレンス」の話に戻り、アラビアの人々の歴史や文化を考えると、貴重な国家財産のルートにある井戸の水を無断で飲んだ他部族のベドウィンが撃たれた意味がわかったかと思えます。

我々の文明と「砂」の文明の本質的な違いはわかりますが、文明の基層にある風土と、その風土に生きる人間の生活のかたちといったようなものが見えてこないと、ほとんど私達はその国のことは理解できないと思います。

イスラムの人々にすれば、欧米の自由と民主主義による、物質文明至上のように見える価値観は理解し難いものだと思います。

私は、現在のイラク問題を考える時、耳ざわりの良い「自由と民主主義」の大義だけで自衛隊をイラクに送ることは如何なものか、今一度考えてみる必要があると思います。

幹 事 報 告： 西山幹事

- ・次週16日（火）はクリスマスパーティーです。18：30～ 銭心亭 おゝ乃にて次週の例会で今年是最後となります。新年は1月6日（火）です。
- ・事務局は27日（土）から1月4日（日）までお休みさせていただきます。

委員会報告： 親睦活動

次週16日午後6：30～銭心亭 おゝ乃にて同伴クリスマスパーティーです。よろしくお願いします。親睦活動委員は午後5時30分集合でお願いします。

ニコニコボックス：	9日現在累計	519,000円
-----------	--------	----------

岡 田 健 君 土曜日（6日）に県民会館へカルメンをききに行って来ました。久しぶりに感動致しました。カルメンもホセも中年のおばさん、おじさんで腹が出ておりましたが大変な声量でした。

丸山達夫君 （^o^）がありまして。

堀川正幸君 丸山さん卓話有難うございます。

小林幹扶君 BOXに協力。

大橋政雄君 ボックスに協力

ロータリー財団：

山 本 賢 君 丸山様、R財団月間のご講話大変ありがとうございます。

西 山 斉 君 //

小林繁男君 //

早川 龍雄君 丸山さんの卓話楽しみにしております。

卓 話： 「古いものにも命は宿る 古いものほど心が光る」 丸山幸雄様

古くからの学友、岡田君よりロータリークラブの卓話に参加を要請されて、そうか“テーブルスピーチか”と気安く応じたところ、実は演台からの講演、準備不足と卓話の焦点ボケに後悔の念しきり

これまで「ただ」だったものが今ではゴミを出すたびに最低でも45円のビニール袋を買わなければならない。これは見方を変えれば増税である。しかも、出すゴミの量が多いほど税金も高くなる。

市民がゴミに関心を持ち、ゴミを出さないような行動をとるなら、ゴミの有料化は成功だと言えるだろう。ゴミの量が減ることで、その回収や処分に使われていた税金を他の住民サービスに振り向けられるようになり、税金の無駄ずかいに歯止めがかけられるからだ。

「ただほど高いものはない」と言うけれど、我々庶民はよくよく「ただ」が好きなようだ。特に公共料金などは「ただ」で当然、無料にするのが行政の「カイショ」だとさえ思っている節がある。

しかし、ガスや水道料金などがもし「ただ」だとしたらその消費量は現在の何倍になるのだろうか。貴重な国家資源が野放図に浪費されてしまうだろう。

国や地方自治体などの行政機構の仕組みは住民から税金を集め、それを住民サービスの形で還元する、つまり100収入があれば、そこから人件費などの諸経費を差し引いた残額を住民サービスとして返す非営利事業である。しかし、現実には100の収入に対して120も130も返している。まさにサービス過剰の逆ザヤ状態なのである。

この不足分を国からの仕送りである交付金や起債つまり借金でまかなっている自治体は国から見れば、いつまでも親離れできない放蕩息子と言えるだろう。地方分権の名の下に、現在国が進めている合併推進政策の狙いは地方の国からの自立以外のなにものでもない。

今後はゴミ有料化のようにある意味では住民に新たな税負担を求める動きが活発となることであろうが、そのことが新しい行政と住民との関係を創りあげることとなるだろう。「ただ」にします、「安く」しますといった選挙公約的な甘言に惑わされそうな時は是非、「ただほど高いものはない」の一言を思い出すことだと思う。

先の東部地区との合併の賛否を問う燕の住民投票の折、反対派の合併すると水道料金やガス料金などが高くなるとの主張に賛成派は反論できなかったようだが、私なら一言「合併しなかったらもっと高くなる」と言っただろう。

12月16日例会：クリスマスパーティー 18：30～ 銭心亭 おゝ乃

12月23日例会：休会（天皇誕生日）

12月30日例会：休会（年末）

1月6日例会：新春例会 山本会長

1月13日例会：ロータリー理解月間

1月20日例会：会員卓話 大野新吉会員

1月27日例会：新年会 18：30～三条ロイヤルホテル